



新型コロナウイルス 感染防止対策で緊急申し入れ

日本共産党甲賀市議員団 甲賀市長と教育長に

日本共産党甲賀市議員団は18日、新型コロナウイルスに関する対策を求めて、市に緊急の申し入れを行いました。申し入れでは、臨時休校に伴う対策のほか、学童保育・保育園・幼稚園の対応、市民の不安に応えるワンストップ相談窓口や医療体制の拡充、市内公共施設の利用、地域経済への影響などについても求めています。(申し入れ全文は裏面)

小西議員反対討論骨子

国民の暮らしと経済は、消費税増税に加え新型コロナ感染拡大の影響で大きな打撃を受けている。こうしたもと、新年度予算は、市民の暮らしを支える予算が求められる。

この間いくつかの問題点が明らかになった。歳入の5億円確保は実質的に実現していない。民営化・アウトソーシングの方向だが、窓口業務の待ち時間の問題など抜本的な見直しが求められる。会計年度任用職員制度の導入で、職員削減と非正規職員の処遇改善が明らかになった。学校給食負担軽減・無償化、中学卒業までの医療費完全無料化、特養ホーム増床対策、公共交通の充実などについて市民の願いに応える予算となっていないことを指摘し反対討論とする。

令和2年度一般会計の当初予算案は、予算総額394億3千万円。保育園や体育館など子育てや教育関連施設の整備に一定の目途がつき、合併特例債活用事業がピークを過ぎたことから前年度比38億5千万円の減となっています。

予算決算常任委員会では、18日の主要事業を中心に各部局ごとに審査が行われました。この中で、戸籍の証明書などを取り扱う窓口業務について、待ち時間が長く市民からの苦情が多いという実態が明らかになりました。今年1月から窓口業務が外部委託となりましたが、体制が整わず支

障をきたしており、委託業務の抜本的な改善が求められます。

子育てでは、病児・病後児保育事業の未実施や、保育園で非正規職員がクラス担当を担っていることが明らかになり正規職員の不足が指摘されました。教育では、小中学校ICT教育について質問が集中し、ICT支援員のあり方が問われました。

コミバスについては、75歳以上無料化に伴い利用が増えたこと、甲賀から甲賀病院行のバス時間の改善などが説明されましたが、さらにニーズに応じた改善が求められます。

3月議会 予算集中審査

市民のくらしを支える予算に

3月12日から18日まで全議員による予算決算常任委員会が開催され、令和2年度一般会計予算案について集中審査が行われました。日本共産党議員団は、新年度予算案が市民のいのちと暮らしを守る予算になっているか、市民の願いが盛り込まれているか、無駄な予算はないかなどの視点から積極的に発言をしました。18日の最終日には、日本共産党の小西喜代次議員が反対討論を行いました。凜風会の橋本恒典議員、志誠会の里見淳議員が賛成討論を行い、賛成多数で可決すべきものと決しました。25日の本会議最終日に採決が行われます。



全議員による予算決算常任委員会

日本共産党

甲賀市議員団ニュース

2020年 3月 22日 第301号



山岡 光広
甲南町森尻 16
TEL 86-2985
Fax 86-0415



小西喜代次
信楽町勅旨 456
TEL 83-0765
Fax 83-0765



岡田 重美
土山町南土山甲 78-15
TEL 66-0696
Fax 66-0696